

＜主があなたとともにいる＞

ヨシュア記 1：1～9



【加藤一二三さん】

大きな変化の中でヨシュアはチャレンジを受けていた。

【ヨシュアに語られた事】

- 1、偉大な指導者モーセが死んだという事実
- 2、ヨルダン川を渡り、神が民に与えようとしている地に行けという命令
- 3、足の裏で踏むところはことごとく、全てを与えるという祝福の約束
- 4、モーセと共にいたように、あなたと共にいる

ヨシュアは荒野の40年間、モーセの苦悩をずっと傍で見してきた。
心の準備は出来ていただろうか・・・

ヨシュアの内にあった恐れや不安は・・・？

- ・自分は与えられた使命を果たせるだろうか。
- ・民は自分を認めてくれるだろうか。
- ・「モーセのように」というプレッシャー

しかしここで重要だったのは、「自分に依らない」こと

- ・神が命じられたということ 1、2節
- ・神からの約束があった 5、6節

『強くあれ、雄々しあれ』と3回も繰り返されている。 6, 7, 9節

どんな時にも神の愛に焦点を当てる！

私たちがキリストの愛から引き離すのはだれですか。患難ですか、苦しみですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。……しかし、私たちは、私たちが愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。

ローマ8：35、37

◆勝利者 (conqueror) は支配権を手に入れることによって勝利を収めた人

その人の信仰を形づくる「勝利体験」「失敗体験」

ヨシュアの「勝利体験」

アマレク人との戦い (出エジプト記17章)

前線で戦ったのはヨシュア。しかしその勝敗は、丘の上で神に祈るモーセにかかっていた。いつも主の御手がある。そのことを学ぶ時になった。

失敗を通して、神に信頼して従うことの大切さを学ぶ。

約束の地へ送られた偵察隊12人の内の10人の不信仰によって、結果40年間、荒野を彷徨う事になった。

具体的な教え 【7, 8節】

①主の教えを守り行う (離れない)

②主の教えをいつも口ずさむ